

薬学部
人文社会学部
ヒューマンケア学部
健康メデイカル学部
健康医療スポーツ学部

学 力 試 験
国 語

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をよく読んでください。

- 一、試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
二、解答用紙は、マーク用解答用紙と記述用解答用紙が両面に印刷されています。
マーク式の問題はマーク用解答用紙に左記の例のようにマークしてください。

(例)

解答	
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
2	① ② ③ ● ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

※同じ解答欄に複数のマークをすることもあります

記述式の問題は記述用解答用紙に記入してください。

- 三、机の上には、受験票・鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り(電動式は除く)・時計(時計機能だけのもの)・眼鏡以外のものは置かないでください。
四、問題・解答用紙の両方に必ず受験番号・氏名を記入してください。また、受験番号をマークしてください。提出の前には記入漏れがないか再度確認してください。
五、問題は3問全問解答必須です。
六、試験中に問題冊子の印刷不鮮明・ページの落丁・乱丁に気付いた場合、また問題の内容について質問などのある場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
七、問題冊子の余白等は適宜利用して構いません。
八、配布された問題・解答用紙は試験終了後回収しますので、持ち帰らないでください。
◇携帯電話は、電源を切ったうえで鞆の中にしまってください。

志望学科・コースの上枠に○をつけてください(第一志望のみ)

受 験 番 号								
氏 名	志望学科・コース							
		薬学部	薬学	科				
	人文社会学部	小学校・特別支援コース	保育・幼稚園コース	福祉コース				
	ヒューマンケア学部	トレーナー・鍼灸コース	トレーナー・看護コース	看護学科				
	健康メデイカル学部	健康栄養学科	心理学科	言語聴覚学科				
	健康医療スポーツ学部	トレーナー・看護コース	作業療法コース	理学療法コース				
観光経営学科								
経営コース								
グローバル経営コース								
トレーナー・経営コース								
スポーツサイエンスコース								
臨床工学コース								
救急救命士コース								
理学療法学科								
作業療法学科								
救急救命士コース								
トレーナー・スポーツコース								
アスリートコース								
動物医療コース								
看護学科								

「問題二」 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

人間が社会をつくる

ふだん、私たちはよく、会話の中で、「われわれは社会の中で生きているのだ」とか、「社会の壁は厚いよ」とか、「社会も変わったものだ」とか、「君も、これからは、社会の荒波を乗り切っていかなければならないよ」といったことを口にする。そして、そのとき、このようなことを口にする人も、それを聞いている人も、あたかも「社会」という実体がわれわれ人間とは別に存在するかのようになっているし、実体としての社会があることをとりわけ不思議とも考えてはいない。また、私たちは、「子どもが変わったのは社会が変わったからだ」とか、「このような社会では人類は生きていけない」と言い、だから、「早急に社会を変えなければならぬ」とも言う。そのときも、そう言い、それを聞くわれわれが頭の中で思い浮かべているのは、社会の仕組みだとか、組織や制度や法律だとか、教育の内容だとかであって、個々の人間を思い浮かべてはいない。

ア、少し冷静になって考えてみれば、社会という実体が、人間と離れて存在してはいないことにすぐ気がつくはずである。ここにこういう社会があるとか、あそこにああいう社会があるといつて指示してみせられる社会などはないのである。社会が実体として存在するとしたら、それは生きて生活している人間そのものであって、人間以外に社会の実体をなすものはない。社会の実体であるかのよう
に思い込んでいる組織とか制度とか法律なども、人間が社会生活を営む過程で、社会生活を円滑にするための a 便ギとして、b ザン定的に作った作り物や作り事であって、われわれが生きている人間と離れて、客観的に存在しているものではない。だから、制度や法律などは、われわれが生活していく上で不要と考えたら、いつでもなくせるものであり、不都合なら、いつでも都合のいいものに変えることができるものなのである。I 社会について考える場合、まず、このことをしっかりと頭の中に入れてほしいと思う。

繰り返すが、社会の実体は生きた人間である。何人かの生きた人間が集まっている状態が社会なるものの実体である。とはいっても、幾人かの人間が、互いに何の関係もなく、ただ漫然と集まっている状態では社会とはいえない。複数の人間が、血縁とか地縁とか契約といった、何らかの関係やつながりをもつて集まっている状態が社会というものである。何らかの関係やつながりをもつて集まって生活し始めた人々は、そういう状態を互いに快いものにし、長く持続させようとするのが常である。そこで、いくつかの約束ごとが作られることになる。そうして作られた約束ごとを、一般には、総称して「文化」というが、その文化の中身が、言葉や仕組み（制度）やきまり（規範）やおきて（法）などである。こうした文化の数を増やし、改良を加えつつ複雑なものにし、それらを世代から世代に引き継ぎつつ、社会の規模を大きくし強固なものにしてきたというのが、人間社会のおおまかな歴史であると理解しておいていいだろう。

社会を作り、運営し、変える力としての社会力

では、本書でいう「社会力」とは何か。c タン的にいえば、社会を作り、作った社会を運営しつつ、その社会を絶えず作り変えていくために必要な資質や能力ということである。このような意味を込めた社会力は、わが国では「社会化」と訳されているジンメル¹の“Vergesellschaftung”という用語にヒントをえて私が造った新しい概念である。

社会学では、一般に、「社会化 (socialization)」という概念を、ある社会に生まれたヒトの子がその社会の一人前の成員になっていく過程という意味で用いている。したがって、ジンメルが用いている社

会化の概念はジンメル独自の概念である。

Ⅰ、ジンメルの社会化概念については、本章の第1節で多少の説明をしているが、ここでもう一度おさらいしておこう。ジンメルという社会化とは、「人々が日常的に繰り返している相互行為が、社会なるものを成り立たせている実体であり、それが社会を社会たらしめているという意味で、社会化と言いつづけることができる」というものである。社会を成り立たしめている日常生活のある状態を社会化と名づけたといえよう。それに対し、私がいう社会力は、社会生活を営む人々のある状態をいうのではなく、社会というものを作り上げていく人間の側の能力とか意欲などのことである。

話をわかりやすくするために、ジンメルの使った *Vergesellschaftung* という用語を解体すると、*Ver-* という接頭語と、*gesellschaft* という本体部分と、*-ung* なる接尾語の三つの部分に分かれる。接頭語の *Ver-* は、「それ」とか「さあつ」とかいった、物事を始めるときの掛け声のようなものであり、本体の *gesellschaft* は、ずばり社会そのもののことであり、接尾語の *-ung* は、英語の進行形を示す *-ing* と同じで、ある行動が持続していることを示す名詞形である。こうしてみると、*Vergesellschaftung* はまさに社会を作っていく作業そのもの、すなわち「社会を作っていく駆動力」を連想させる。少なくとも私にはそう思えてくる。そんなわけで、本書でいう社会力は、社会のある種の状態のことをいうのではなく、もつと主体的に、好ましい社会を **d コウ** 想し、作り、運営し、改革していく意図と能力と、そのための日常的な活動を含めた意味で用いることにしたい。

このように説明すると、多くの人が心理学の常用語となっている「社会性」の概念とどこが違うのかと反問したくなるはずである。**ウ**、社会性について調べてみると、よく使われているわりには、その定義や内容が心理学者の間で共有されているわけではないことがわかる。広い意味では、「社会が支持する生活習慣、価値規範、行動規範などによって行動できるという社会的適応性」を指しており、狭い意味では、「他者との円滑な対人関係を営むことができる」という対人関係能力」を意味しているという(繁多進他編『社会性の発達心理学』)。しかし、だからといって、心理学者の間で社会性についてのイメージがバラバラであるというわけではない。心理学者がイメージする社会性とは、煎じ詰めれば、現在自分が住んでいる社会に適応しているかどうかのポイントになっており、適応性があることが社会性があることの証しだとする点では認識が一致しているといつていい。**Ⅱ** こういうイメージで定義づけられば、社会性とは、「すでにある社会にうまく適応できていること」とか、「社会に適応してやっていけるさまざまな知恵や技術を身につけていること」ということにもなる。その社会に支配的な価値観や行動の仕方や習わしや言葉づかいなどを身につけ、やるべきことをそつなくやり、他のメンバーとの人間関係もうまくやっている人がいれば、その人は社会性に富んでいるということになる。

こう説明してくれば、本書でいう社会力とこれまで主として心理学者によって使われてきた社会性がどこでどう違うかがはつきりしてくるはずである。社会性の概念が現にある社会の側に重点を置いているのに対し、社会力という新しい概念は社会をつくる人間の側に力点をおいた概念であるともいえる。社会性が既存の社会への適応を旨とし、その社会の **A** を志向する概念であるとしたら、社会力は既存の社会の **B** を志向する概念であるといつてもいい。

いま、子どもや若者の社会性不足が指摘されているが、私の見方をいえば、若い世代に欠けているのは社会性ではなく、社会力であるということになる。さらにいえば、社会力が欠けているのは何も若い世代だけではなく、先行世代である大人たち自身が相当に **Ⅲ** 社会力を欠いているのが現状であるということになる。

問一 傍線部 a ～ d のカタカナの部分と同じ漢字を含む熟語を、次の中から一つずつ選びなさい。
解答は a ～ d の順にマーク用解答用紙の 1 ～ 4 にマークしなさい。

a

⑤	④	③	②	①
偽善	意義	適宜	質疑	会議

b

⑤	④	③	②	①
暫時	暗算	悲惨	残虐	斬新

c

⑤	④	③	②	①
単調	感嘆	冷淡	極端	短縮

d

⑤	④	③	②	①
考察	構築	購読	講義	公演

問二 空欄 ア ～ ウ に入る適切な語句を、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。解答はア ～ ウの順にマーク用解答用紙の 5 ～ 7 にマークしなさい。ただし、同じ言葉は重複して用いないこと。

- | | | | | | | | |
|---|------|---|------|---|------|---|-------|
| ① | そして | ② | さらに | ③ | もしくは | ④ | しかし |
| ⑤ | すなわち | ⑥ | ところで | ⑦ | そこで | ⑧ | このように |

問三 傍線部 I 「社会について考える場合、まず、このことをしっかり頭の中に入れてほしいと思う」とあるが、筆者は何を「しっかり頭に入れてほしい」といつているか。ふさわしくないものを次の中から一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 8 にマークしなさい。

- ① 法律や制度などは、社会生活を営む上で必要に応じてなくなったり変えたりできる。
- ② 社会という実体の存在は、人間が生きて生活している組織や制度そのものである。
- ③ 制度や法律などは人間が社会をつくるために必要なものであり、人間と密接に関わっている。
- ④ 社会の実体は人間とかけ離れて存在してはいない。
- ⑤ 具体的な存在として社会の形を示して見せることは難しい。

問四 傍線部 II 「こういうイメージ」とあるが、「こういう」の指す内容として最も適切なものを選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 9 にマークしなさい。

- ① 現在自分が住んでいる社会に適応している
- ② 適応性があれば社会性がある
- ③ 人間関係をうまくやっている
- ④ 社会的適応性がある
- ⑤ 社会を作っていく作業ができる

問五 空欄 ・ に入る言葉として最も適切なものを、次の中から一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙の にマークしなさい。

- | | | | |
|---|--------|------|---|
| ① | 「 A 保障 | B 安定 | 」 |
| ② | 「 A 成立 | B 運営 | 」 |
| ③ | 「 A 安定 | B 成立 | 」 |
| ④ | 「 A 継続 | B 支配 | 」 |
| ⑤ | 「 A 維持 | B 革新 | 」 |

問六 傍線部 Ⅲ 「社会力を欠いている」とあるが、社会力を欠くことでどのような懸念が考えられるか、解答欄に合わせて、四十五字以内（句読点、記号等も字数に含む）で説明しなさい。解答は記述用解答用紙に書きなさい。

問七 筆者の意図する内容としてふさわしくないものを次の中から一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙の にマークしなさい。

- ① 他の人間との関係をうまく作っている人が社会性に富んでいるといえる。
- ② 社会という実体は人間が何らかのつながりを持って集まっている状態である。
- ③ 現在、子どもや若者には社会性が不足している。
- ④ 現在は、大人たち自身に相当社会力が欠けているといえる。
- ⑤ 社会の実体は生きた人間であり、そこで生まれた文化を引き継ぎ社会の規模を大きくしてきた。

「問題二」 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

健康グッズの立役者

世の中には抗菌グッズと呼ばれるものが出回っている。

抗菌スプレーや抗菌マスク、抗菌シート、抗菌性プラスチックなど、さまざまなものによって、私たちの体は、菌から守られている。

抗菌物質には、色々があるが、天然成分と呼ばれるものには、植物由来の物質が多い。

植物は、日々、病原菌と戦っている。そのため、すべての植物は抗菌物質を身につけて身を守っているのである。

植物が持つ抗菌物質の例は I 枚挙にいとまがない。

たとえば、ミカンの皮に含まれるリモネンという精油成分は、洗剤にも用いられる成分だが、もともとはミカンの果実や種を守るための抗菌物質である。お茶の葉の中に含まれるカテキンも、抗菌活性のある物質である。お茶のカテキンも、もともとは病虫害から身を守るためのものだ。野菜の中には、えぐみや渋み、苦味のあるものがある。それらも、もともとは病原菌から身を守るための物質である。このような抗菌活性は、さまざまに人間に利用されてきた。

たとえば、ワサビの抗菌活性は鮮魚の腐敗を防止することができる。また、かしわ餅や朴葉餅のように、餅を植物の葉でくるむのは、腐りやすい餅が腐らないように、抗菌活性を持つ葉でくるんだのである。

あるいは衣類に用いられた藍染や、ジーンズを染めたインド藍も、抗菌活性がある。そのため、作業着や野良着として菌から肌を守るために用いられたのである。

さらに、このような植物が持つ抗菌物質は、人間の健康にも役に立つ。植物が持つ抗菌物質は a シ ヨウ薬や薬草として人間が病氣から身を守るための物質としても用いられたのである。

体にいい植物成分

抗菌物質だけではない。植物が持つ成分には、人間の体に良いものがたくさんある。

たとえば、アントシアニンやフラボノイドなどのポリフェノールやビタミン類などの抗酸化物質も、植物が持つ健康成分の一つである。植物の抗酸化物質は、老化防止のアンチエイジング効果や美肌効果、動脈硬化の予防、癌の予防、抗ストレス、疲れ目の改善など、さまざまな健康効果がある。

A、考えてみれば不思議である。そもそも、どうして植物は、人間の老化を防いだり、美肌にしてくれたりするような物質をわざわざ持っているのだろうか。

植物はさまざまな物質を持っているが、無駄な物質を作るわけではない。植物が作り出す物質は、すべて植物が生きていくために必要な物質なはずである。

この話をするためには、植物と植物病原菌の b ソウ 絶な戦いの物語から始めなければならないだろう。

ある日の葉っぱの上

ある日の葉っぱの上に場面をフォーカスしてみよう。

突然、緊急事態を知らせる信号が葉っぱ全体を駆け巡った。病原菌が現れたのである。

人間の世界で言えば、けたたましくサイレンが鳴り響いた。そんな感じだろうか。それにしても、目も耳もない植物が、どうして病原菌の到来を c サツ 知することができるのだろうか。葉っぱの中にサ

イレンになるわけではない。病原菌の到来を知らせるシグナルが、化学物質を介して細胞から細胞へと伝えられていくのである。じつは、病原菌は、植物に対してエリシターと呼ばれる物質を出す。この物質を感知して、植物は病原菌の到来を知るのである。

しかし、謎は残る。どうして病原菌は植物に対して自らの存在を知らしめるような物質を出すのだろうか。

エリシターは特定の物質の名前ではなく、「引き出すもの」という意味である。植物は、病原菌から発せられる物質を感知して、防御態勢を取るのである。

当然のことながら、病原菌がⅡ わざわざ植物のために、自らの存在を知らせるはずはない。エリシターは、もともとは病原菌が、植物に侵入するための物質である。たとえば、泥棒が家に忍び込もうとすれば、鍵穴に針金を入れたり、工具でガラスを割ったりする。しかし、そうすれば、異常を感知した防犯ベルが鳴り響くことであろう。同じように、植物も病原菌の侵入作業を感知するのである。しかし、外から観察すると、病原体の出した物質によって、防御が引き起こされるように見える。そのため、エリシターと呼ばれているのである。

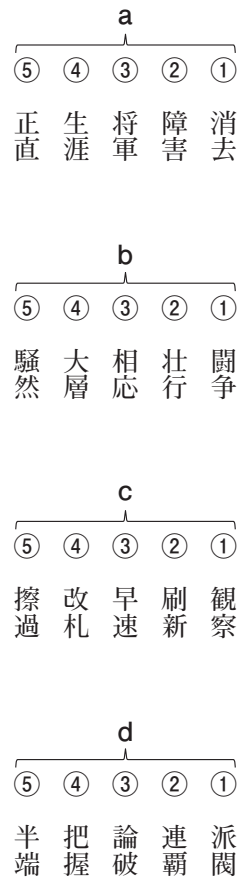
エリシターは、病原菌が出す物質だけでなく、病原菌の体を構成する細胞壁や、あるいは、病原菌の攻撃によって d 八壊された植物の細胞壁もエリシターとなる。Ⅲ このように、さまざまな異常を感じて植物は防御態勢を取るのである。

（稲垣栄洋『たたかう植物』より）

問一 傍線部Ⅰ「枚挙にいとまがない」の本文中での意味として最も適切なものを、次の中から選
びなさい。解答はマーク用解答用紙の12にマークしなさい。

- ① そんなに珍しいことではない
- ② 改めて言うほどのことではない
- ③ じっくり考える暇がない
- ④ あまりにも多くて数え切れない
- ⑤ 誰もが知っていることである

問二 傍線部 a ～ d のカタカナの部分と同じ漢字を含む熟語を、次の中から一つずつ選びなさい。
解答は a ～ d の順にマーク用解答用紙の13 ～ 16 にマークしなさい。



問三 空欄 A に入る最も適切な語句を、次の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙の
17 にマークしなさい。

- ① ところで
- ② しかし
- ③ このように
- ④ だから
- ⑤ じつは

問四 傍線部Ⅱ「わざわざ」が直接かかっていく語はどれか。次の中から適切なものを一つ選びな
さい。解答はマーク用解答用紙の18 にマークしなさい。

- ① 植物のために
- ② 自らの
- ③ 存在を
- ④ 知らせる
- ⑤ はずはない

問五 傍線部Ⅲ「このように」が指し示す内容として適切ではないものを次の中からすべて選びな
さい。解答はマーク用解答用紙の19 にマークしなさい。

- ① 植物が抗菌物質を自分で作っている
- ② 病原菌が植物に対して出す物質がエリシターとなる
- ③ 植物が生きていくために必要なエリシターを作りだしている
- ④ 病原菌の体を構成する細胞壁がエリシターとなる
- ⑤ 病原菌によって破壊された植物の細胞壁がエリシターとなる

問六 筆者の表現の工夫として適切ではないものを、次の中からすべて選びなさい。解答はマーク用

解答用紙の 20 にマークしなさい。

- ① 読者に筆者の考えに納得してもらえるよう、客観的なデータを示している
- ② 読者が興味をもつて読み進められるよう、問いかけの表現を多用している
- ③ 読者が生物の面白さに気付きやすいように、冒頭に専門的な用語を用いている
- ④ 読者がイメージをもつて内容を理解できるよう、たとえや比喻を用いている
- ⑤ 読者に興味をもってもらえるよう、冒頭で身近にある例を話題にしている

「問題三」 次の各問いに答えなさい。

問一 次のア、オの対義語を、後の〈語群〉からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答はア、オの順にマーク用解答用紙の 21 ～ 25 にマークしなさい。

ア 混乱

イ 帰納

ウ 充実

エ 一般

オ 解放

〈語群〉

① 空虚

② 閑散

③ 演繹^{えんえき}

④ 特殊

⑤ 秩序

⑥ 束縛

⑦ 普及

⑧ 謀反

問二 次のア、オの意味をもつ故事成語を、後の〈語群〉からそれぞれ一つ選びなさい。解答はア、オの順にマーク用解答用紙の 26 ～ 30 にマークしなさい。

ア 自分自身で体験して確かめるのが最も確実である

イ あつても益のない余計な物事

ウ 目先の違いにばかりこだわり、結局は同じ結果となるのに気づかないこと

エ 人から忠告や批判を受けても全く気に留めないことのたとえ

オ 才能のある人の中でも特別に優れた人物のこと

〈語群〉

① 馬耳東風

② 五十歩百歩

③ 蛇足

④ 百聞は一見に如かず

⑤ 白眉

⑥ 朝三暮四

